平成29年度事業報告

公益社団法人鳥取県人権文化センターは、鳥取県、市町村、民間団体等との密接な連携のもと、 人権に関する専門機関として次に掲げる事業を行った。

区 分

事業内容 · 成果

1 人権啓発事業

(1) 調査研究事業

- ア次のテーマによる調査研究を実施した。
 - ○「超高齢社会の人権尊重」(H28~29 年度の 2 か年事業) 県内外 8 か所の個人・団体に聞取り調査を行い、さまざまな 取り組みについて情報収集するとともに、県内 5 名の有識者から 成る調査研究助言者会議を 6 回開催して、調査研究の成果を活か した各種教材等の内容について協議した。
- イ 研究紀要「解放研究とっとり」第20号の発行
 - ○県内の人権関連活動報告の掲載

部落問題(部落差別解消法)、人権教材の作成(人権絵本)、 子どもの人権保障(子ども食堂)に関する活動報告を、それぞれ 外部関係者に依頼し、掲載した。

○センターの小論文の掲載

「超高齢社会の人権尊重」の調査研究において県内4名に聞取り調査をして得た情報を、「高齢者のための国連原則」を使って整理し、超高齢社会において人権尊重を進めていくための要点を示す小論文を執筆、掲載した。

○墨字版、点字版・音声版の作成

B5 判で 2,000 部を印刷し (墨字版)、会員と関係機関に配布した。 また、点字版と音声版 (カセットテープ版およびデイジー版) を 作成し、県内 5 カ所の図書館等に配架した。

ウ 事業アドバイザー会議の開催

県内外5名の有識者から成る事業アドバイザー会議を開催して 協議を行い、その意見を参考に平成30年度事業計画案等を作成した。

○事業アドバイザー会議の開催

会場:県立人権ひろば21 "ふらっと" 日時:平成29年8月28日、9月5日

- ○協議内容
 - ・市町村人権啓発担当課へのアンケート結果について
 - ・新しい調査研究テーマ(平成30・31年度実施)について
 - ・本年度事業等の准捗状況及び成果について
 - ・平成30年度以降の事業展開について
 - ・鳥取県立人権ひろば21 "ふらっと"の移転について

区 分 事業内容・成果

(2) 研修事業

ア 研究発表会の開催

「超高齢社会の人権尊重」の調査研究の成果を県内各地に届けるため、研究発表会を開催した。

開催日:平成30年2月27日 県立倉吉体育文化会館

参加者: 32 名

イ 人権啓発指導者養成のための各種事業の実施

○人権学習ファシリテーター養成講座

ワークショップの特長を体験的に理解し、7グループに分かれて ワークショップの学習プログラムを作り、模擬実施した。

会場: 湯梨浜町中央公民館

期日:5月25・26日、6月16日、7月6日(全4回)

参加者:30人

○人権学習ファシリテーター実践講座

養成講座で作成した学習プログラムを 6 グループが県内各地の 人権研修で実施し、その成果や課題と改善策、学習プログラムの 応用案などについて協議を行った。

講座はグループ毎に、①実践準備・打合せ、②人権研修における実践、③実践後のふりかえり・評価の全3回で開催した。

期間:9月下旬~12月上旬

会場 (①および③):

県立人権ひろば21、倉吉市人権文化センター、 やまびこ人権文化センター、県男女共同参画センター、 倉吉未来中心

実践場所(②):

西部地区人権・同和教育振興会議第3回(社会教育)研修会 倉吉市人権文化センター所属職員連絡会研究会 琴浦町立八橋小学校5年生人権・同和教育保護者研修会 鳥取市人権問題企業連絡会リーダー養成講座 琴浦町立八橋小学校4年生人権・同和教育保護者研修会 八頭高等学校PTA人権教育研修会

参加者:10名

(3) 啓発・情報提供事業

ア センター機関紙の発行

機関紙を年3回発行し、会員や県内の公的施設等に配布した。

発行回数:3回(65号:6月、66号:10月、67号:2月)

発行部数:3,500部/回

掲載内容:人権学習ファシリテーター養成・実践講座報告

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会予告

ふらっと夏休み企画 (UD 体験)募集

ふらっとでミニ学習会報告、ふらっと視察研修報告

ふらっと人権ライブラリー・人権相談紹介

賛助会員募集

区	分		事	業	内	容	•	成	果	
<u> </u>	/.]		-	\sim	1 1	~L		13/2	_/I>	

イ 人権学習資料 36 の作成・配布

調査研究テーマの成果を活かし、学習資料として地域の幅広い 啓発活動に提供した。

テーマ: 超高齢社会の人権尊重

発行数:8,000部

(H29 年度末現在) 会員等配布: 3,000 部

個人・団体等への頒布 2,936 部

- ウ 人権啓発パネルの制作と貸出
 - ○パネルの制作と配置

パネル番号 40「超高齢社会の人権尊重」(4 枚セット×2 組)を制作し、その紹介ちらしを県内各地に配布した。

パネルは当センターの他、米子市人権情報センターにも1組を 保管いただき、既存のパネルと同様、主に県内西部地域への貸出 業務をお願いした。

○パネルの貸出

小・中・高等学校、公民館、隣保館、役場・役所ロビー等の延べ64か所に、64組のパネルを貸出した。

エ メルマガの配信

県立人権ひろば 21 及び当センターの啓発イベントの案内、 人権ライブラリーの P R 情報等とともに、人権に関わる様々な テーマを取り上げた小エッセイを掲載した。

配信回数:17回…通常配信12回<月1回(第4水曜日)>

特別配信 5回<啓発イベント等の紹介>

登録者数:115人(H29年度末現在)

オ 「『共に生きる社会』をめざして」聞取り調査報告書の作成・配布 平成27・28年度調査研究で実施した聞取り調査の成果を読み物 教材化し、県市町村等に配布した。

(4) ネットワーク事業

- ア 市町村、公民館、企業等への研修支援
- ○研修講師の派遣

市町村、企業、学校等が開催の人権研修等に、当センター研究 員を講師等として派遣した。

派遣回数:93件…うち講演75回、ワークショップ13回、 人権教育LHR3回、研究集会等2回

延べ受講者数:4,803人

○人権研修等の企画等に関する助言・情報提供

県内各地からの以下についての問い合わせに応じ、個別に助言 や情報提供を行った。

講師、学習プログラム、研修企画・進め方、啓発資料、 人権啓発関連用語・法律、フィールドワーク受入れ施設、 特定の人権問題に対する考え方・要点等

区	分	事	業	内	容	•	成	果	

イ ネットワーク・ファシリテーターの派遣

県内の団体からのワークショップによる人権研修の実施依頼に 応じ、ネットワーク・ファシリテーター**を講師として派遣した。

延べ派遣者数:9人 延べ受講者数:283人

※当センターの各種講座等を修了するなど、ワークショップについて一定の理解や経験を持つ人材が任意で登録。登録者がセンターの支援を受けながら実践を通じて技量を磨くと共にワークショップ型研修のニーズに応えることを目的とする。

登録者数:23人(平成29年度末)

- ウ 大学、民間団体、企業等との協働の取組
 - ○鳥取大学との連携

「労働と教育フォーラム」に出席し(年4回)、センターの調査研究およびアンケート調査について検討した。

○鳥取県人権啓発活動ネットワーク協議会 年5回の協議会に参加し、次の啓発事業に参画した。 ガイナーレ鳥取連携啓発事業:9月10日 チュウブ YAJIN スタジアム 人権週間フォーラム:11月23日 米子市文化ホール

工 人権啓発活動

人権に対する県民の関心を高め、当センターをPRするため、 人権啓発キャラクターの「ふらっチョー」を活用しながら県内の 啓発イベント等に参加した。

延べ7回:智頭小学校「花いっぱい運動贈呈式」 部落解放月間啓発活動

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 身元調査お断り運動推進強調月間街頭啓発活動 ガイナーレと連携した人権啓発事業

女性に対する暴力をなくす運動鳥取駅前啓発活動 人権週間フォーラム

(5) 人権相談事業

県内に暮らす人々の人権に関する悩みを聴き、相談者と一緒に解決 策を考えるための相談窓口を設置し、幅広い分野の相談に対応した。

○相談体制

毎週、水、土、日曜日(祝日は除く)に人権相談員1名が待機し、 電話・面談等で相談に対応した。

(相談員3名がローテーション勤務。うち2名は産業カウンセラー の資格を有している。)

○相談件数

延べ 263 件(前年度 269 件) うち面接 164 件、電話 99 件

区 分			事	業内	容	• 成	、果	
	○相談内容							
		人権	問題	分野別(単位:	件)		
		人権					9	
			女性	Ė		1		
			高齢)者		0		
			子と	i t		2		
		内	障が	い者		1		
		r j	同和	問題		1		
		訳	外国	国人		0		
			病気	に関わる	もの	0		
			プラ	イバシー	保護	1		
			その	他		3		
	_	一般	生活相				254	
					合 計		263	
	2	人権	相談	の行為類	型別(単位:	: 件)	
		差別	表現				2	
		落書	き				0	
		イン	ター	ネット			0	
		就労		募集採用	用		2	
		かしフリ		その他			1	
				身体的			0	
				心理的			1	
		虐待	Ė	性的			0	
				経済的			0	
				ネグレ	クト		0	
				提供			0	
		就学		22			0	
	-			シー			0	
	-			活の安全			0	
		報道					0	
		誹謗嫌が					1	
		邪かいじ					1	
	-	セク					0	
		パワ					0	
		性犯					0	
	-	結婚		[0	
	-	賃貸					0	
	-	その					0	
	-				合	計	10	
					Ц	ΗI	10	

		T
		事業内容・成果
		(注)1件の人権相談の中に、複数の行為類型が含まれる場合があったため、①の人権相談件数(9件)と②の行為類型別の合計数(10件)は一致しない。
2	「鳥取県立人権ひろ ば21 ふらっと」 の管理運営	鳥取県が設置した人権学習と交流の場「鳥取県立人権ひろば 21 ふらっと」の指定管理者として同施設の管理及び運営を行った。 (受託期間:平成 26 年度~30 年度)
		ア 施設利用者数 4,209 名(前年度 4,416 名)
		イ 人権ライブラリー
		○貸出件数: 2,307件(前年度1,919件) うち、図書1,440冊 DVD・ビデォ 867本
		○図書等の購入:図書 113 冊、 DVD19 本
		ウ 交流スペース
		○ミニ学習会の開催 NPO団体等に委託し、交流スペースでミニ学習会を開催した。 開催回数:5回 委託先団体:難民支援団体ピースバード、くるみ食堂、 特定非営利活動法人十人十色、プラン山陰、 ママプロデュースとっとり 委託金額:計391,179円
		○「絵本の読み聞かせとおはなし会」の開催 乳幼児とその保護者を対象に開催した。 開催回数:10回(原則、毎月第4金曜日)
		 …5月、1月は参加者がなく中止 ○「イキイキお話会」(高齢者対象)の開催 音楽鑑賞と人権相談員によるエッセイの朗読と講話を行った。 開催回数:10回(原則、毎月第4火曜日) …11月、12月は担当者の長期病欠により中止
		 ○啓発パネル展等の実施 人権啓発に係るパネル展や作品展を、関係団体と協力しながら 実施した。 実施回数:15回 協力団体:鳥取県自閉症協会・らっきょうの花、 鳥取聾学校写真部、琴の浦高等特別支援学校、 県人権局、白兎養護学校、鳥取アディクション連絡会

事業内容・成果 区 分 ○「夏休み特別企画」の実施 夏休み期間中に、小学生を対象とした人権に関する学習会を 実施した。 延べ参加者数:17人 3・4 年生対象「ユニバーサルデザイン体験」(7月31日) 5.6 年生対象「ユニバーサルデザイン体験」(8月2日) ○県内外の視察・見学への対応 各種団体等の要望に対応し、事業説明や啓発研修を行った。 実施回数:7回 訪問団体:用瀬地区公民館、倉吉市人権政策課、土師地区 同和教育推進協議会、姫路市西御着総合センター、 姫路市立堀川町総合センター、姫路市英賀宮西 集会所、姫路市立丸尾町総合センター、姫路市立 城東町総合センター ○交流スペースの無料貸出 人権に関わる活動団体の会議や定例会の会場として、交流スペ ースを無料で貸し出した。 利用回数:33回 利用団体:鳥取南更生保護女性会、NPOママの働き方応援隊、 鳥取県更正保護女性連盟 (東部地区)、 KHJ 鳥取らくだ会 理事会・総会の開催 業務の適切な執行及び審議のため、理事会及び総会を開催した。 ア理事会 ○第1回通常理事会 期日:平成29年5月11日 会場:県立人権ひろば21 "ふらっと" 議事:・平成28年度事業報告及び収支決算について

・役員の選任(案)について

期日:平成29年10月20日

会場:県立人権ひろば21 "ふらっと"

議事:・平成30年度事業計画(要望案)について

・平成29年度前期事業報告について

・平成30年度収入支出予算(要望案)について 報告:・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について

○臨時理事会

・平成29年度補正予算(案)について ・平成29年度定時総会の招集について

区 分	事業内容・成果
	○第2回通常理事会
	期日:平成30年3月5日
	会場:県立人権ひろば21"ふらっと"
	議事:・平成29年度補正予算(案)について
	・平成30年度事業計画(案)について
	・平成30年度当初予算(案)について
	・役員の選任(案)について
	・平成29年度臨時総会の招集について
	報告:・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について
	イの総会
	○定時総会
	期日:平成29年5月30日
	会場:県民ふれあい会館
	議事:・平成28年度事業報告及び収支決算について
	・役員の選任(案)について
	・平成29年度補正予算(案)について
	○臨時総会
	期日:平成30年3月19日
	会場:県民ふれあい会館
	議事:・平成29年度補正予算(案)について
	・平成30年度事業計画(案)について
	・平成30年度当初予算(案)について
	・役員の選任(案)について